

2015年2月12日
第6回知の市場年次大会

開講拠点 愛知・名古屋市立大学

開講機関 名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ

名古屋市立大学医学研究科
分子毒性学 教授 酒々井 眞澄

1. はじめに

今日、医療・保健分野では急速に進歩する医療(診断、治療)に対応できる人材育成、高度な専門知識に基づいた看護、介護、運動療法等への対応が求められています。また、科学技術は大きく進歩し、かつて学んだ知識は古く役立たないものがあります。自己研鑽と再学習の場として、一般市民向けに「最新医学講座ーオープンカレッジ」を開講しています。また、育児、家事、介護のために離職された女性医師、看護師等は日々進歩する医療技術を習得する機会が少なく、職場復帰する不安を抱く方も少なくありません。こうした社会の現状を踏まえ、名古屋市立大学では医療・保健分野の医師、看護師、薬剤師、助産師等の医療従事者の復職支援や、医療の進歩に対応した能力向上を図ることを目的として、総合的かつ効率的なプログラム「名市大 医療・保健 学びなおし講座」を開講しています。

2. 2014年度開講講座の実績

「最新医学講座ーオープンカレッジ」では、定員80名のところ、2014年度は3期すべてで定員を上回り、計327名の方に受講していただきました。

「名市大 医療・保健 学びなおし講座」では、実践的な実習を含む6科目を開講し242名の方に受講していただきました。

3. 2015年度開講に向けての課題

引き続き多くの方に受講していただけるよう、広報に努め、幅広く周知する。学びなおし講座については、休職中の医療従事者への周知方法も検討が必要であると考えます。

また、復職希望者への就職支援に役立つ講義科目の設定と、受講証明証の活かし方を検討します。その他、専門用語の解説や、使用する講義室の清掃・整備等、気持ちよく受講していただける配慮に努めます。